映画や読書で 文化財をさぐる

一月の少年教室で実施

去る一月十六日少年教室を開きました。

今回は「文化財をさぐる」というテーマで、文化とは何かということを考えてもらうことにしました。

午前中は「動物や植物の生態を見て生活をみなおそう」ということで映画鑑賞にし、「日本ざる」「尾瀬」「王子さまは豚の番人」（アンデルセン物語、マンガ）をみました。

午後から「昔話やお話しを聞き、読書についての楽しみを知ろう」ということで、松浜小の宮下泰雄氏を講師に、その助手に丸山そよ子、倉井幸子両氏（童話会、ドングリの会員、新潟おやこ劇場役員）をお願いしました。

丸山さんが、斎藤隆介作〝八郎〟という物語をとても上手に朗読してくださいました。

その後宮下氏が中心になって、八郎について感想を子供達から引きだしてもらいました。その感想のいくつかを簡単に記しますと、

①八郎は人の為に死ぬが、死ぬしか方法がなかったのか。

②なぜ八郎はあんなに大きくなったのか。（八郎の足あとは牛のようであり、涙はいしうすのようであった、と書いてあります。）

③体が大きくなると心も大きくなるのか。

④人のために死ぬことについて、疑問に思う。

⑤大きい八郎の頭に小さい鳥が巣をつくったのが、とてもよかった。可愛かった。

⑥八郎が海と闘い、山をもち上げたのがよかった。等です。

今回はじめての行事でしたが、これを機会に読書についての楽しみ方をいろんな年代の人に伝えたいと思います。

文化財というものが、史跡や古文書を調査するだけのものではなく、昔話を聞いたりいろんな学習することによって、「文化」とは何かを考えてほしいと思います。

（注・文化＝人間が学習によって社会から習得した生活の仕方の総称）

簡易保険入賞作文

〝親切賞〟

横中三年　今井尚子（木津）

二年生の終り頃、先生の提案で「それぞれの人にみんなで考えた賞をやりましょう」ということになりました。私もあの人に、アイデア賞、この人にユーモア賞、それとも〝明るい〟賞〟がピッタリだなど自分勝手に想像をめぐらして鉛筆をはしらせました。自分が書き終えると、今度は自分が他人にどんな賞をつけられているのだろうと心配したり、あとで友達と書いたものを教えあったり。最終的に班からの代表が話合いできめました。

と、そんなことなど書いたことを忘れかけていたある日先生から「〇〇さん、△△賞」と発表され、はがき半分くらいの大きさにそれぞれの賞が書かれてある白い紙を渡されました。それを聞いているとふき出しそうなくらいおかしい賞があったり、その人にピッタリだと思うステキな賞があったり、まさしく十人十色でした。

ところで私あての賞は〝親切賞〟今まで他の人のをいろいろ聞いて喜んでいた私も、胸の中は疑問符だらけ。これはレクリエーションなんだとわかっていても、このような賞をもらってもよいのだろうかと考えてしまったのです。

教科書を貸す、鉛筆を削ってやる……考えてみればただならないことがあとを追うように浮かんでくるけれどさっぱりとした気持でその賞をしまっておくことはできないくらいでした。

実際に、私はすばらしい親切を受けたことがあります。学校で風邪をこじらせて気分の悪い時、いろ〳〵お世話をしてもらったり、大事なものを落した時心身になって探してもらったり、当然のことのようですが、私にとって涙線がゆるむほどありがたいと思ったことばかりです。

ほんの数回だけれど私もバスで座席をゆずったことがあります。とっても勇気のいることです。なにしろ、見ず知らぬ人に声をかけるのですから。でも席をゆずったということに喜こびを感じ、心がふんわりとまるくなってしまうようです。

快く席をゆずられて「ありがとね」といってくれたおばあさん。「どうぞ」といって席をさしのべたのだが「すぐ次でおりますから」とことわられたこともあります。こんなこともたまにあるけれども、声をかけてみるものです。

そのような経験をすることなどよりも自分が少しおとなになったようで気持のよいものです。

机の上にはられた親切賞の白い紙を見ると、いつも思うことがあります。人間的あたたかい心で接することのできるような心の持ち主になりたいと。

（紙面の都合で一部省略させていただきました。）

大晦日にスルメ募金

新田子供会、売上げの一部を村へ寄附

子どもの人間形成、心身の健全な成長をめざして、特に活発な活動を進めている新田子ども会（構成一〇三名）では、年末年頭に於ける横越神社二年参りに於て「スルメ募金」を行い、この益金を村の恵まれない人々にと、呼びかけ純益を寄金した。

この奉仕活動は、六年生が自主的に協議し、急遽実行に移されたもの。六年生16名の内14名が参加し、笹竹切り作業や、スルメ付けなど共同して事前準備するなどして、当日（三十一日夜）を迎えた。

朝から雨となり参拝の人出が懸念されたが幸にして雨も小康状態となって、ドッと繰出し、この為予定したスルメは飛ぶような売れゆきで、わずか30分程度で売切れとなり、おそく参拝に来た人は「もう無くなったのか」。「もう少し用意したら」等の声も聞かれる程の人気であった。

子ども会では、年頭早々の六日午后一時、神田村長を訪ね、「村の恵まれない人々に少しでも役立て下さい」と純益を寄金した。この新年当初の善行に対して、神田村長は「世の中はみんなで助け合ってゆかなければ、なりたっていきません。皆さんの苦労された善意の結晶を、村の社会福祉協議会を通して、役立つようにします」と激励した。

尚、村の社会福祉協議会からも礼状が出された。

スルメはいかがですか!!可愛声が飛び交う

村の社会奉仕者 新民生委員決る

十五名が厚生大臣から委嘱さる

去る五十二年十二月一日を期して民生（児童）委員の全国一斉改選が行なわれ、村でも新しく十五名の民生（児童）委員が厚生大臣の委嘱を受けました。

社会奉仕の精神をもって自主的に社会福祉の増進に努める委員の職務は、それ〴〵の地域に密着して生活保護家庭の指導、心配ごとのある人たちの生活相談や、低所得者のある人更生の援護、老人身体障害者、児童母子、精神薄弱者等の福祉向上を広範にわたって地域福祉にはげんでおります。

民生委員名簿

氏名	TEL	担当地区
神田　恒吉	2871	横越上
神田　隆吉	3243	横越中
神田　勇	2154	横越中
渡辺　三伊	2408	横越下
柴沢　平治	2298	川根谷内
村手　淳一	2066	沢海上中
星　節	2015	沢海中下
清水　長蔵	（京ケ瀬局）2650	姥山
阿部　貞	3237	木津上中
三井　次作	3452	木津中下
塚原　元衛	（亀田局）4974	二本木上中
仲村　ヒロ	（亀田局）5244	二本木中下
山崎志枝子	3161	小杉上中
稲村　倉二	2716	小杉中下
串田　要吉	2727	藤駒

恐しいシンナー、接着剤の乱用を防止しましょう

塗料類を溶かすときに使われるシンナーや工作に使われる接着剤には、有機溶剤といわれるトルエン、酢酸エチルなどの人体に有害な化学薬品が含まれています。「シンナー遊び」と称してこれらの臭いをかぐ非行が流行し、今まで新潟県では、千五百人近くの少年が警察で補導され、また、これらの吸入乱用による死者は今まで十一人余を数えています。

さらにこの原因で罪を犯かしたり、精神障害をおこした者も数知れず、大きな社会問題となっています。

◎ご存しですか!。

脳や内臓がおかされて死亡します。

ガラス容器（二）リットル）にハツカネズミを入れ、シンナー液を五～六滴たらしますと、ネズミはたちまちめいて状態となり、四肢がふるえ千鳥足から歩行困難から完全なこん睡状態で横たわり、全身けいれんし死亡します。

これは、シンナー、ボンドなどの主成分に強い毒性があるため、人間が乱用すると、

○頭痛、はき気、不眠食欲不振になります

○幻覚症状により物を壊すなどの乱暴をする。

○優性中毒者は顔色がどす黒く、ほおがこけて目に生気がなくのどを痛がる。

○羞恥心がなくなり破廉恥な行為を平気でやる。

などの恐しい結果を招きます。そこで家庭では、子供の態度、行動、友達関係に十分注意しましょう。

一般の方は、乱用少年を見つけたら、県薬物乱用指導員（山崎公民館長）警察、保健所などに連絡し、みんなで協力し、少年を非行から守りましょう。

文芸

東北紀行

坪谷十九一

象潟や島海に湧く夏の雲
雨はれて十和田を囲む茂り濃し
奥入瀬の渓水速き河鹿かな
湧き清水此処弁慶の墓どころ
老杉や汗ふき登る月見坂
凉しさやみ仏の眉やさしくて
藤原の背や遣き花あやめ
毛越寺は梅雨の晴れ間の結び籔
雲厚し八甲田山梅雨の雷

泣き寝入りせずに審察の申立を

交通事故。その他の犯罪で犯人を処罰するには、裁判所の裁判によらなければなりませんが、裁判所に犯人の処罰を求めるのは検察官の仕事です。これを起訴といいます。しかし、検察官は、すべての犯人を起訴するわけではなく検察官の判断で起訴しないものもあります。これを不起訴といいます。犯罪の被害者でこの不起訴処分に不服の方は検察審査会に審査の申し立てができます。

検察審査会は国民の代表として、衆議院議員の選挙権を有する者の中から「くじ」で選ばれた検察審査員で構成され、審査の申立てを受けると事件の真相を調査し、犯人が起訴されるべきものと判断したときは、検事正に、その旨の勧告をする国の機関です。

なお、詳しくは次のところでお尋ねください。

新潟地方裁判所内
新潟検察審査事務局
電話新潟(24)―四一三一番

村の青年団の歴史を探れ

村連合青年団では、結成三十周年を記念し、記念誌の発行を計画しておりますが、過去、青年団活動の資料及び写真が事務局にあまり残されておりません。

村民のみなさんの中で、当時の写真及び資料がありましたら、是非提供下さるようお願い致します。

尚、貴重な物件については編集後、確実にお返し致します。

横越村連合青年団